

1.機械工学科

<p>ディプロマポリシー</p>	<p>機械工学科は、ものづくりの精神を基本とし、機械技術者としての基礎能力や専門技術を修得するとともに広い視野と豊かな心を備えて、社会に貢献できる自立の精神に富んだ実践的、創造的機械技術者を育成することを目指しています。そのため以下のような能力を身につけ所定の単位を修得した学生に卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 機械工業に必要な、材料強度、機械力学、設計製図、生産加工、制御情報、熱、流体および機械工学に関連した周辺技術に関する基礎的な知識と技術を修得し、課題を解決するために活用できる。 2. 自ら学び工夫するとともに、他者と協力して課題の解決に積極的に行動できる。 3. 環境に配慮しながら技術者倫理に沿って自律的に判断し、行動できる。 4. 広い視野と豊かな心を備えて社会に貢献できる。
<p>カリキュラムポリシー</p>	<p>機械工学科は、学生がディプロマポリシーに掲げた各能力を身につけられるよう、以下のように教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 機械工業に必要な、材料強度、機械力学、設計製図、生産加工、制御情報、熱、流体および機械工学に関連した周辺技術に関する基礎的な知識と技術を修得し、課題を解決できるように <ol style="list-style-type: none"> (1) 低学年次に数学、化学、物理を、高学年次に応用数学、応用物理科目を設け、講義を主として実施して各専門分野を学ぶ基礎を身につける。 (2) 高学年次に機械系4力学（材料力学、機械力学、流体力学、熱力学）科目を設け、講義を主として実施し、さらにこれらに関する演習科目を設け実施する。 (3) 全ての学年に製図科目を設け、講義・実習を主として実施する。また高学年次には設計工学、機構学科目を設け、また製図科目は設計的要素を帯び、講義・実習・実験を主として実施する。 (4) 低学年次に加工実習科目を設け、実習を主として実施する。また高学年次に加工学、品質管理科目を設け、講義を主として実施する。 (5) 低学年次に情報処理科目を設け、講義と実習を主として実施する。また高学年次に制御工学科目を設け、講義を主として実施する。 (6) 中高学年次に専門系英語科目、材料工学科目、化学工学科目、電気電子工学科目を設け、講義を主として実施する。 (7) 高学年次に卒業研究を設け、実験を主として実施する。 2. 自ら学び工夫するとともに、他者と協力して課題の解決に積極的に行動できるように <ol style="list-style-type: none"> (1) 低学年次に専門導入科目、高学年にセミナー科目を設け、講義を主として実施する。 (2) 低学年次に加工実習科目を設け、実習を主として実施する。 (3) 中高学年次に化学、物理、機械工学の実験科目を設け、実験を主として実施する。 (4) 高学年次にインターンシップ、卒業研究を設け、実習および実験を主として実施する。 3. 環境に配慮しながら技術者倫理に沿って自律的に判断し、行動できるように <ol style="list-style-type: none"> (1) 低学年次に加工実習科目を設け、実習を主として実施する。 (2) 中高学年次に化学、物理、機械工学の実験科目を設け、実験を主として実施する。 (3) 高学年次に安全工学、工業倫理、品質管理科目を設け、講義を主として実施する。 4. 広い視野と豊かな心を備えて社会に貢献できるように <ol style="list-style-type: none"> (1) 低学年次に国語、社会、生物、地学、芸術科目を設け、講義を主として実施する。高学年次にリベラ

	<p>ルーツ科目を設け、講義・演習を主として実施する。</p> <p>(2) 低中学年次に基礎力を養成する英語科目、高学年次に第二外国語科目、専門系英語科目を設け、講義・演習を主として実施する。</p> <p>(3) 全ての学年に保健体育科目を設け、講義・実習を主として実施する。</p> <p>以上の教育課程において、到達目標に対する到達度を</p> <p>(1) 講義科目においては、定期試験・演習・レポートなど</p> <p>(2) 卒業研究においては、卒業論文、研究発表、課題への取り組み状況など</p> <p>(3) その他の科目においては、課題への取り組み状況、レポート、発表など</p> <p>により各科目のシラバスに記載されている方法で評価します。</p> <p>成績は 100 点法によるものとし、60 点以上を合格として単位を認定します。成績評価の評語は次の基準によるものとします。</p> <p>評価 点数</p> <p>S 90 点以上</p> <p>A 89 点以下 80 点以上</p> <p>B 79 点以下 70 点以上</p> <p>C 69 点以下 60 点以上</p> <p>D 59 点以下</p>
アドミッシンポリシー	<p>「求める学生像」 機械工学科は、ものづくりの精神を基本とし、機械技術者としての基礎能力や専門技術を修得するとともに広い視野と豊かな心を備えて、社会に貢献できる自立の精神に富んだ実践的、創造的機械技術者を育成することを目指しています。そのため次のような入学者を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 機械技術者になる意欲を持っている人 2. 理数系の基礎学力が身に付いている人 3. 自立心があり、社会的ルールを守って行動できる人 4. 他の人と対話を通して相互理解を深めようとする人 <p>「入学選抜の基本方針」</p> <p>第一学年への入学選抜は、推薦による選抜及び学力検査による選抜により行う。</p> <p>◇ 推薦による選抜 調査書、推薦書、推薦選抜志願調書、適正検査（数学）の成績及び面接の評価を総合して行う。</p> <p>◇ 学力検査による選抜 調査書及び学力検査（理科、英語、数学、国語及び社会）の成績を総合して行う。</p> <p>第三学年への外国人留学生の編入学選抜は、高専機構が実施する選抜試験により行う。</p> <p>◇ 高専機構による選抜 出願書類、日本留学試験の成績、TOEFL、TOEIC 又は IELTS の成績及び面接の評価を総合して行う。 第四学年への編入学選抜は学力検査による選抜により行う。</p> <p>◇ 学力検査による選抜 調査書及び学力検査（数学、英語及び理科）の成績を総合して行う</p>